

令和4年度

岩手県立大学 公開講座

1講座あたり
100名(先着順)

申込締切

7/8金

—ここからはじまる、いわての未来—

会場

岩手県立大学 滝沢キャンパス
共通講義棟(講堂)【事前予約制・全席指定】

【受講料】1,000円(全講座の受講が可能)／高校生以下は無料

【動画配信】岩手ケーブルテレビジョンによる放映・県立大学YouTube公式チャンネルによる配信

講座
②

7/23 土 15:10～16:25

大学進学と人生

高等教育推進センター 准教授 天野 哲彦

講座
③

7/30 土 13:00～14:15

原敬音声再現の舞台裏～原敬の音声を、どのような方法で再現したのか～
ソフトウェア情報学部 准教授 樽松 理樹

講座
④

7/30 土 14:45～16:00

法分野の国際協力(法整備支援):ソ連解体から31年、社会主義体制からの移行を振り返る
総合政策学部 准教授 桑原 尚子

講座
⑤

8/6 土 13:00～14:15

子どもの貧困を考える
～地域支援の意義と課題～

社会福祉学部 准教授 櫻 幸恵

講座
⑥

8/6 土 14:45～16:00

民族と国家:20世紀ドイツの歴史からウクライナ侵略を考える

高等教育推進センター 講師 大谷 実

講座
⑦

9/3 土 13:00～14:15

在宅ケアの必要な子どもと家族の状況から～地域に根ざした支援を考える～

看護学部 准教授 原 瑞恵

講座
⑧

9/3 土 14:45～16:00

明日の災害から生き残るために
～個人・地域で取り組む災害の事前準備～

総合政策学部 講師 杉安 和也

講座
⑨

10/1 土 13:00～14:15

岩手県宮古市における東日本大震災からの住宅復旧の状況

盛岡短期大学部 准教授 内田 信平

講座
⑩

10/1 土 14:45～16:00

女性はなぜ故郷をあとにするのか～東北地方からの女性人口流出について考える～

宮古短期大学部 学部長 松田 淳

※講師・タイトルは変更となる場合がありますので御了承ください。



岩手県立大学
Iwate Prefectural University

お問合せ・お申し込み
岩手県立大学 研究・地域連携室
〒020-0611 岩手県滝沢市菓子152-89

WEBでのお申し込みはこちらから

TEL 019-694-3330 FAX 019-694-3331
E-mail koukaikouza@ml.iwate-pu.ac.jp



開講にあたって



岩手県立大学 学長 鈴木 厚人

岩手県立大学では、開学以来、大学の教育・研究の成果を広く還元し、県民の皆様の多様な学習ニーズに応えるとともに、地域社会の教育・学術・文化の発展に貢献することを目的として公開講座を開講しています。

今年度は「ここからはじまる、いわての未来」と題し、3年ぶりに対面で開催することとしました。学内の講師が、専門的な立場からわかりやすい話をいたします。受講される皆様が、岩手の今をより深く知り、これからの未来を考えるきっかけとしていただければ幸いです。どうぞお気軽に御参加ください。

公開講座を岩手県立大学公式YouTubeチャンネルで受講できます！

動画配信で2講座以上を受講し、それぞれレポート(様式自由、各400字程度)を作成し、郵送いただいた方に修了証を発行します。氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号を明記してください。



締切 令和5年1月31日(火)

講座概要

講座1 大学生とは・岩手県立大学で学ぶとは

大学では高校生徒から大学生へ:「生徒」から「学生」になったことを自覚し、受動的な「学習」から能動的な「学修」への転換が必要です。この学修に取り組む基本的な姿勢=学修の出発点について話します。そして、教育や研究成果を広く社会に還元し、大学の社会的責任を追求する岩手県立大学での学修の実践について話します。

岩手県立大学 学長 鈴木 厚人

講座2 大学進学と人生

人生において大学進学にどんな意味があるのでしょうか?決めるのは個人ですが、考えるヒントを示します。また、大学が求める人物像はどのようなものかを明らかにし、大学入試で何が求められるのか、何が測られるのか、岩手県立大学の入試を例に考えてみます。

高等教育推進センター 准教授 天野 哲彦

講座3 原敬音声再現の舞台裏

～原敬の音声を、どのような方法で再現したのか～

令和4年3月10日から原敬記念館において、原敬の音声再現システムが一般公開されています。本講座では、原敬100回忌記念事業として取り組んだ原敬音声再現システムについて、どのような方法や技術を用いたのか、今後どのような発展が考えられるのかなどについて、解説します。

ソフトウェア情報学部 准教授 樽松 理樹

講座4 法分野の国際協力(法整備支援):ソ連解体から31年、社会主義体制からの移行を振り返る

1989年ベルリンの壁崩壊、1991年ソ連解体から30年以上が過ぎました。この間、日本を含む先進国、世界銀行や国連といった国際機関は、旧社会主義国の民主化・市場経済化のために法整備支援を大規模に展開してきました。本講座では、講師が従事した日本による法整備支援を事例に、法を通じた社会変革について考察します。

総合政策学部 准教授 桑原 尚子

講座5 子どもの貧困を考える～地域支援の意義と課題～

近年、子どもの貧困に対する社会的関心が高まり、学習支援や子ども食堂など地域における支援の輪が広がっています。一方で貧困を生み出す構造的課題の解決は進んでいるでしょうか。本講座では、岩手県内での子どもの生活実態調査等から見てきた子どもたちの現状を踏まえて、地域における支援の意義や課題を考えます。

社会福祉学部 准教授 櫻 幸恵

講座6 民族と国家:20世紀ドイツの歴史からウクライナ侵略を考える

昨今のウクライナ侵略では「ロシア系住民の保護」が謳われますが、こうした「理由」に基づく軍事行動は、歴史上初めてではありません。本講座では、この「民族と国家」という問題について、20世紀ドイツの歴史を事例に考えます。冷戦体制など当時の国際情勢や社会状況を視野に入れつつ、「現在と過去の対話」に挑みます。

高等教育推進センター 講師 大谷 実

講座7 在宅ケアに必要な子どもと家族の状況から～地域に根ざした支援を考える～

在宅ケアに必要な子どもが身近な地域でサービスが受けられる支援体制がすすめられており、医療的ケア児が適切な支援を受けられることを目的とした医療的ケア児支援法が施行されました。本講座では、岩手県内の在宅ケアが必要な子どもを養育している家族への調査結果をもとに、子どもとその家族の状況から支援を考えます。

看護学部 准教授 原 瑞恵

講座8 明日の災害から生き残るために～個人・地域で取り組む災害の事前準備～

地震、火災、大雨、洪水、土砂災害、火山噴火等、岩手県でも様々な災害に遭遇する可能性があります。災害は人間社会側の都合にお構いなしで、突然やってくるものです。そんな災害から生き残る可能性を高めるために、個人・地域として、どのような事前準備を行うべきか、岩手県内外の先行事例を交えながら解説します。

総合政策学部 講師 杉安 和也

講座9 岩手県宮古市における東日本大震災からの住宅復旧の状況

今年で東日本大震災の発生から11年が経ちました。震災後、沿岸部各地では大量の住宅需要が発生しましたが、これらの住宅はどのような事業者によって供給されたのでしょうか。また、被災者が建設業者を選定する際の要因にはどのようなものがあったのでしょうか。宮古市での調査データを基に分析した結果を報告します。

盛岡短期大学部 准教授 内田 信平

講座10 女性はなぜ故郷をあとにするのか～東北地方からの女性人口流出について考える～

古今東西を問わず、人口移動は、経済社会のあり方を大きく変えます。現代の日本では、地方からの女性人口の流出が顕著に進行しています。本講座では、東北地方を事例にとりつつ、女性人口の流出実態を明らかにするとともに、その要因を探ることで、改めて地方からの女性人口の流出がもたらす影響について考えます。

宮古短期大学部 学部長 松田 淳

- 受講料は、別途指定する銀行口座へ振込願います。
- 開催日の一週間前までに受講案内が届かない場合、研究・地域連携室までお問合せください。
- 新型コロナウイルス感染症の状況等により、中止とする場合がありますので、あらかじめ御了承願います。また、入場時にはマスクの着用をお願いします。
- 御記入いただいた個人情報には十分に注意を払って管理し、講座の運営のために使用いたします。また、各種講座の御案内をさせていただくことがあります。
- 障がいをお持ちの方など、特別な配慮(車椅子用駐車場等)が必要な場合は、事前にお知らせください。

岩手県立大学ホームページ <https://www.iwate-pu.ac.jp/>

岩手県立大学



申込用紙

必要事項をご記入の上、チラシのままFAXするか(FAX 019-694-3331)切り取ってはがきに貼付して御郵送ください。

受講希望講座に○印をつけてください。複数講座の申込ができます。

講座①	講座②	講座③	講座④	講座⑤
講座⑥	講座⑦	講座⑧	講座⑨	講座⑩

●氏名(ふりがな) _____ 歳 男・女

●住所 〒 _____

●電話番号 _____ ●職業(学生は学校名・学年) _____

●E-mail _____ @ _____

●利用交通手段 _____ ●これまでの受講の有無 _____

●備考(事務局への連絡事項等) _____

キリトリ

キリトリ